科目名	看護倫理	対象学年・時期	１年・後期
講師	副校長	単位数・時間数	１単位・１５時間
講義概要	ディプロマポリシー２に基づく。人間の尊厳や権利擁護に直接かかわる医療従事者の職業倫理は社会的にとりわけ重要であるがニーズや価値観が多様化してるなか、何をよいこととするのか判断に迷うケースが多くなってきている。その中で看護師は専門職としてその職業の質を保証し、責任を持って行動することが必要とされる。本科目では医療・看護の現場で直面する理利敵課題と倫理の概念について学習し、看護者として人間の生命・尊厳・生活にかかわる権利を尊重するための基本的能力を身につける。		
講義形態	講義・グループワーク・ロールプレイ・プレゼンテーション		
学習目標	１．看護の倫理原則が理解できる。 ２．看護実践の際の倫理的課題について理解する。 ３．事例をとおして倫理的課題を解決できるか考え、自分の考えたプロセスを述べることができる。		
学習内容 (授業計画)	１回目：授業ガイダンス…「看護倫理」のプロローグ ２回目・３回目：倫理の基礎…倫理における価値とは　－演習１ ４回目：看護倫理の基礎 ５回目：看護倫理に関係する重要な言葉　～「看護アドボカシー」について考える～ ６回目：医療をめぐる倫理原則とケアの倫理と倫理的ジレンマ ７回目：倫理的意思決定のステップと事例検討　－演習２ ８回目：終講試験		
使用テキスト	看護学テキスト「看護倫理　よい看護・よい看護師への道しるべ」南江堂		
事前学習・ 事後学習 (学習を促進できる学修)	授業の終了時に次回の講義箇所を確認するので、その時に事前学習の内容等の指示をします。		
評価基準と 評価方法	筆記試験		
備考	「正解」のない曖昧さに耐え、看護師としての責務を果たすためにも「何が対象にとってよいことか」を問い続けましょう。		